

報告事項

件名	第30回埼玉県産業教育フェアのWeb開催について
提出理由	第30回埼玉県産業教育フェアの実施状況について、別紙のとおり報告します。
概要	<p>1 概要</p> <p>(1) 主催 埼玉県教育委員会、埼玉県産業教育振興会</p> <p>(2) 目的 専門高校等の生徒によるICTを活用した学習成果の発表等の活動を通じて、生徒の技術力・創造的に解決する力、協働的に取り組む態度を養うとともに、産業教育の魅力と役割を紹介し、広く県民の関心と理解を高める。</p> <p>(3) スローガン 「今こそ魅せる 産業の力」</p> <p>(4) 開催期間・場所 令和2年11月9日（月）～令和3年3月31日（水） 埼玉県高校教育指導課ホームページ</p> <p>2 主な特徴</p> <p>(1) 生徒実行委員会による企画・運営</p> <p>(2) 専門高校等の主な学習内容の紹介</p> <p>(3) 課題研究等による学習成果発表</p> <p>3 成果</p> <p>(1) 他者と協働した課題解決力の育成</p> <p>(2) 効果的なプレゼンテーション力の育成</p> <p>(3) 主体的に取り組む力の育成</p> <p>4 全国産業教育フェア埼玉大会に向けた更なる取組の改善</p>

(高校教育指導課)

第30回埼玉県産業教育フェア

(Web 開催) 報告書

1 概要

(1) 主催

埼玉県教育委員会 埼玉県産業教育振興会

(2) 目的

専門高校等の生徒による ICT を活用した学習成果の発表等の活動を通じて、生徒の技術力・創造的に解決する力、協働的に取り組む態度を養うとともに、産業教育の魅力と役割を紹介し、広く県民の関心と理解を高める。

(3) スローガン

「今こそ魅せる 産業の力」

(4) 開催期間・場所

令和2年11月9日(月)～令和3年3月31日(水)

埼玉県高校教育指導課ホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2208/sanfair.html>

2 主な特徴

(1) 生徒実行委員会による企画・運営

生徒実行委員会は、専門高校20校の生徒25名で構成され、オンライン形式の会議等を活用し、スローガンや実施内容などを企画・運営した。

ア 募金活動の実施

歳末たすけあい募金や医療従事者のための募金活動を行った。

募金をしていただいた方へのプレゼントのために、大宮工業高校と大宮商業高校の生徒がポケットに掛けるためのマスクフック及びマスクケースを作成し、フェアのチラシとともに大宮工業高校と大宮商業高校の生徒及び生徒実行委員で配布した。

イ 活動ニュース

生徒実行委員会の活動の様子が伝わるよう、生徒実行委員自らが動画を作成し、毎月掲載した。

活動ニュースでは、フェアの運営について昨年度の生徒実行委員からアドバイスをもらい、その様子も紹介した。

ウ 専門高校の成果発表リレー

専門高校の魅力を伝えるため、生徒実行委員自らが所属する学科の特色を紹介する動画を掲載した。

動画では、農業、工業、商業、家庭・看護・福祉各部会でバトンに模して、手作りボール等の共通小物を決め、小物を受け取るリレー場面から始める工夫をした。



「オンライン生徒実行委員会」



「大宮駅西口での募金活動」



「11月の生徒実行委員会の様子を伝える『活動ニュース』
越谷総合技術高校



「手作りボールを共通小物とした家庭部会の成果発表リレー」

(2) 専門高校等の主な学習内容の紹介

- ア 農業部会 作物の栽培や動物の飼育、農業機械の操作、食品加工
- イ 工業部会 機械工作や電気配線、ロボット製作、建築設計
- ウ 商業部会 プログラミング、情報処理、総合実践
- エ 家庭・看護・福祉部会
調理、保育、被服製作、病院での看護実習を想定した校内実習、
介護福祉施設での実習を想定した校内実習



「動物の飼育」
農業部会



「建築大工」
工業部会



「総合実践」
商業部会



「和食の調理実習」
家庭・看護・福祉部会



「注射法の実習」
家庭・看護・福祉部会



「介護現場とリモート実習」
家庭・看護・福祉部会

(3) 課題研究等による学習成果発表

専門高校の課題研究授業等のうち、代表的なものを紹介した。

ア 保育科

鴻巣女子高校による、生徒が保育室全体を絵本の世界に装飾した、子供向け遊戯施設「こどものくに2020」の施設案内

イ 電子機械科

(ア) 新座総合技術高校による「ライントレースロボット」のデモンストレーション
※「ライントレースロボット」とは、ビニールテープなどで作られた線をセンサで認識して走行（トレース）するロボットのこと。

(イ) 大宮工業高校ラジオ部による「太古の埼玉県に誘う教具『縄文土器パズル』」の製作発表

ウ 福祉科

誠和福祉高校による「介護事例研究」の発表

エ 建築科

(ア) 春日部工業高校による「ウェルカムアーチ」製作の様子

(イ) 熊谷工業高校による技能五輪全国大会建築大工職種において敢闘賞を受賞した様子

オ 服飾デザイン科

新座総合技術高校による「ファッションショー」



「こどものくに2020」
の施設案内
鴻巣女子高校



「『ライントレースロボット』の
デモンストレーション」
新座総合技術高校



「『縄文土器パズル』の
製作発表」
大宮工業高校



「介護事例研究」
誠和福祉高校



「ウェルカムアーチ」製作の様子
春日部工業高校



「ファッションショー」
新座総合技術高校

3 成果

(1) 他者と協働した課題解決力の育成

オンラインを活用して、生徒実行委員会を実施し、フェアの企画内容を検討することで、他者と協働した課題解決力が育成された。

(2) 効果的なプレゼンテーション力の育成

今年度の全国産業教育フェアの開催県である大分県の生徒実行委員とZoomを介してつながり、会場のお客様に向け、埼玉県のパフォーマンスを行った。オンラインでの効果的なプレゼンテーション力が育成された。

(3) 主体的に取り組む力の育成

生徒実行委員会では、生徒がコロナ禍において自分たちにできることについて話し合い、募金活動を行うこととした。その際、アイデアを出し合い工夫したグッズも配布した。集まった募金はNHK 歳末たすけあい募金に寄付をした。



「オンライン生徒実行委員会で生徒が話し合っている様子」



「大分県との生徒交流」

4 全国産業教育フェア埼玉大会に向けた更なる取組の改善

来年度に実施予定の全国産業教育フェア埼玉大会は、埼玉県の魅力を全国へ発信することができる絶好のチャンスである。Webを活用した企画内容の充実や広報戦略について下記の三点を検討する。

- ・生産物のインターネット販売
- ・他会場に分かれて実施するコンテストのライブ中継
- ・VRやARを取り入れた体験